

## 栃木県及び周辺の地震活動（令和 8 年 4 月）

### 【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は 5 弱でした。期間内に県内で震度 1 以上を観測した地震は 12 回（前月 6 回）、震度 3 以上を観測した地震が 2 回（前月なし）ありました。

### 【栃木県及び周辺の地震活動】

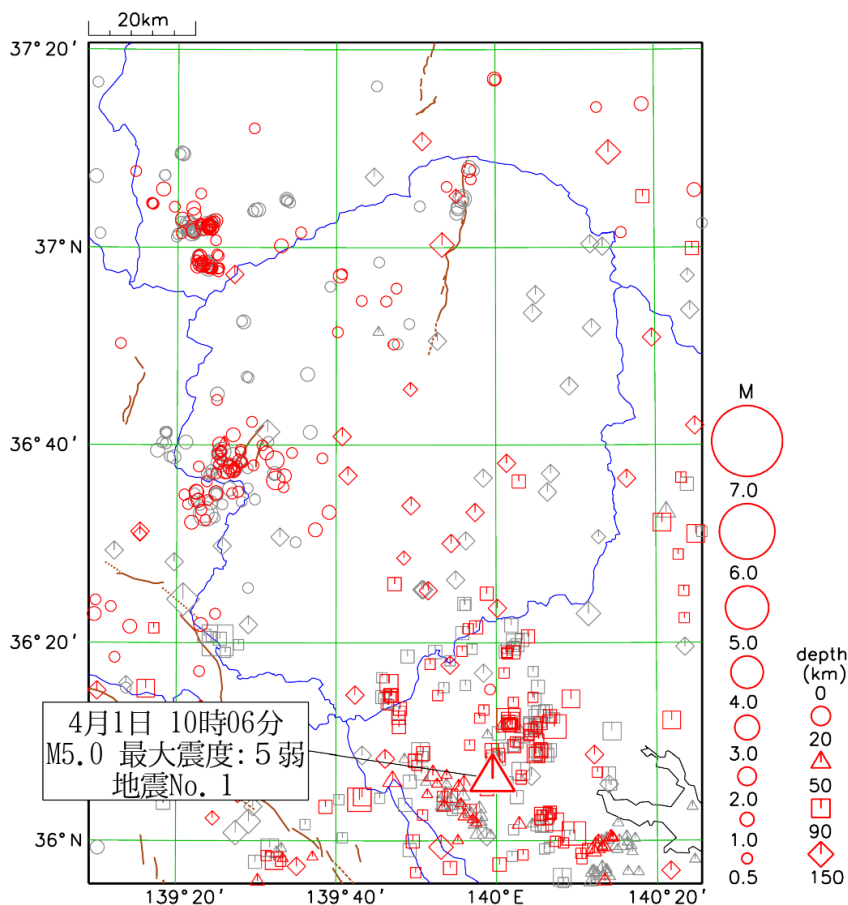


図 1 震央分布図（2026 年 3 月 1 日～2026 年 4 月 30 日）

- ・今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度 3 以上を観測した地震及び県内を震源とする震度 1 以上を観測した地震です。地震 No. は県内で震度 1 以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・M はマグニチュードで 0.5 以上、深さ（depth）は 150km までの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

## 【4月に県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震 No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード	国内最 大震度	県内最 大震度
	月日	時分							
1	4月1日	10時06分	茨城県南部	36° 06.2'	139° 59.5'	48	5.0	5弱	5弱
2	4月2日	1時28分	埼玉県北部	36° 04.1'	139° 42.9'	57	3.2	2	1
3	4月2日	9時52分	宮城県沖	38° 10.8'	141° 42.0'	52	4.9	3	1
4	4月5日	16時34分	茨城県南部	36° 11.5'	140° 07.2'	52	3.6	2	2
5	4月6日	0時23分	茨城県南部	36° 12.1'	140° 01.5'	52	3.6	2	2
6	4月6日	8時17分	神奈川県西部	35° 36.2'	139° 19.2'	139	3.4	1	1
7	4月7日	4時43分	茨城県南部	36° 00.7'	140° 09.6'	63	3.2	1	1
8	4月8日	21時12分	東京都多摩西部	35° 45.7'	139° 18.4'	108	3.4	1	1
9	4月18日	14時54分	長野県北部	36° 34.3'	137° 51.3'	9	5.1	5弱	1
10	4月20日	16時52分	三陸沖	39° 50.5'	143° 09.4'	19	7.7	5強	3
11	4月23日	23時53分	千葉県北西部	35° 46.7'	140° 08.4'	70	3.8	2	1
12	4月27日	5時23分	十勝地方南部	42° 40.2'	143° 04.5'	83	6.2	5強	1

・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

## 【震央分布図範囲内の地震】

### 1. 茨城県南部（地震No. 1）

1日10時6分に茨城県南部で発生した地震（深さ48km、M5.0）により、栃木県で震度5弱を観測したほか、東北地方、関東地方、東海地方、甲信越地方で震度4から1を観測しました。栃木県では真岡市で震度5弱を、7市町で震度4を、15市町で震度3を、1町で震度2を観測しました（図2）。

気象庁は、この地震に対して栃木県南部を含む関東地方に緊急地震速報（警報）発表しました。

この地震による栃木県内の被害は確認されていません（栃木県による）。

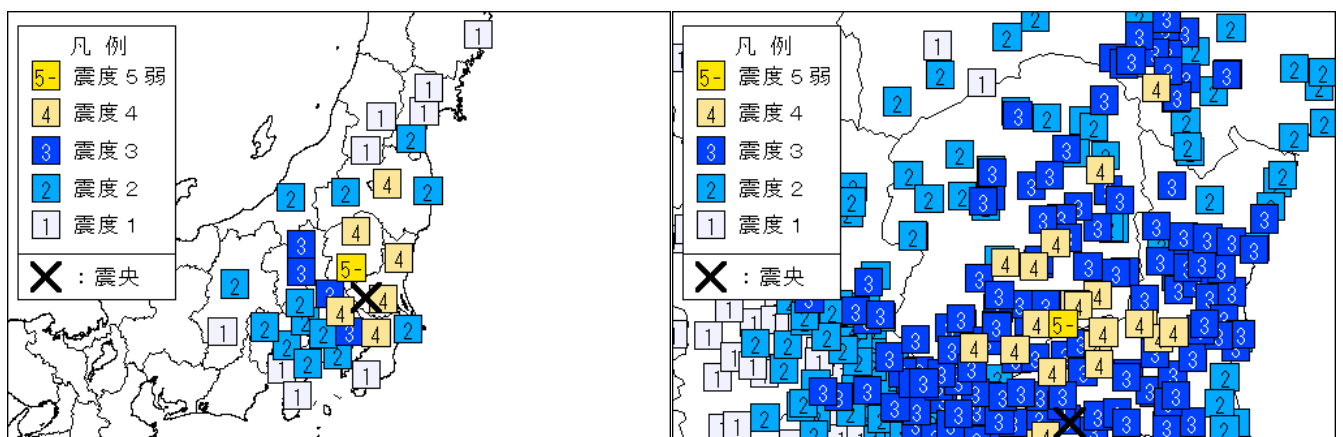


図2 1日10時6分 茨城県南部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

## 【震央分布図範囲外の地震】

### 1. 三陸沖（地震No. 10）

20日16時52分に三陸沖で発生した地震（深さ19km、M7.7）により、青森県で震度5強を観測したほか、

北海道から近畿地方にかけて震度5弱から1を観測しました。栃木県では高根沢町で震度3を、22市町で震度2を、2市で震度1を観測しました（図3）。

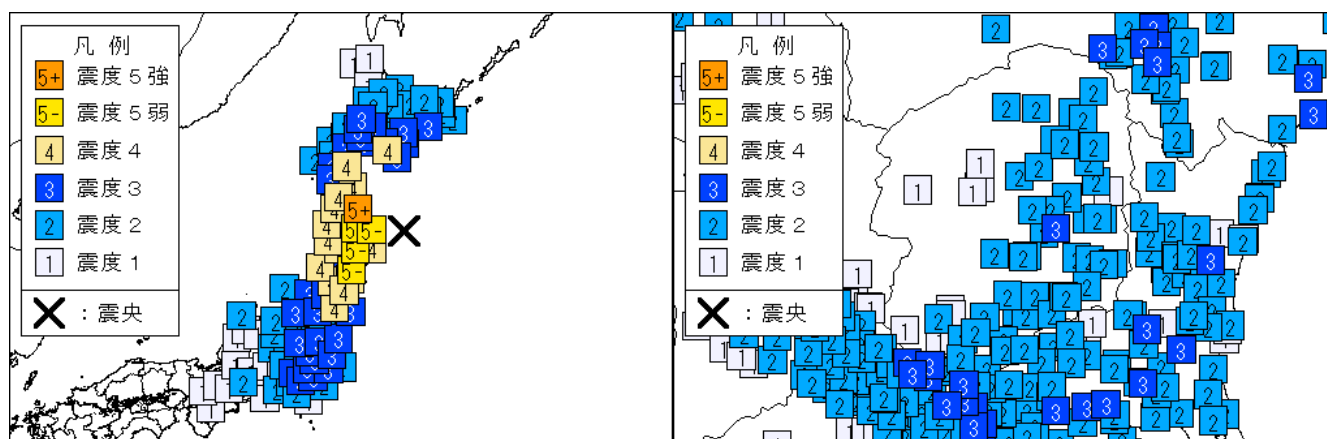


図3 20日16時52分 三陸沖の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

### 【防災メモ】北海道・三陸沖後発地震注意情報

4月20日に三陸沖でマグニチュード7.7、深さ19km、最大震度5強（暫定値）の地震が発生し、東北地方や北海道地方の太平洋沿岸を中心に津波警報等（津波警報・津波注意報）が発表され、実際に岩手県の久慈港で約0.8mの津波が観測されたほか、北海道の根室市花崎から福島県のいわき市小名浜にかけての太平洋沿岸で津波が観測されました。また、この地震に伴い、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されました。この地震による栃木県内の建物や道路等への被害こそありませんでしたが、東北新幹線に大きな遅れが発生しました。北海道・三陸沖後発地震注意情報は、栃木県への影響こそほとんどありませんが、仕事や旅行等で影響を受ける地域を訪れている時に発表されることがないとも限りません。今回は、北海道・三陸沖後発地震注意情報について説明します。

千島海溝・日本海溝沿いの領域で規模の大きな地震が発生すると、その地震の影響を受けて新たな大規模地震が発生する可能性が相対的に高まると考えられています。このため、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域及び想定震源域に影響を与える外側のエリアでマグニチュード7程度以上の地震が発生した場合に、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表します。

この情報は、突発的に発生する地震への日頃からの備えを前提とした上で、必要な防災対応を呼びかけ、より多くの人命を守るための取組です。情報が発表されたら、地震発生から1週間程度、社会経済活動を継続しつつ、日頃からの地震への備えの再確認をすることに加え、揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりしたら、すぐに避難できるように準備しましょう。

気象庁において一定精度のMwを推定し、情報発表基準を満たす先発地震であると判断でき次第、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の発表と内閣府・気象庁合同記者会見が行われます。合同記者会見では、気象庁から「北海道・三陸沖後発地震注意情報の解説」が行われ、その後に内閣府から「当該情報を受けてとるべき防災対応の呼びかけ」が行われます。この呼びかけは、一週間継続します。

- ・「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/nceq/info\\_guide.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/nceq/info_guide.html)

- ・北海道・三陸沖後発地震注意情報の解説ページ（内閣府 HP）

[https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/hokkaido/index.html](https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/index.html)

- ・北海道・三陸沖後発地震注意情報防災対応ガイドラインの公表（令和4年11月）（内閣府 HP）

[https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/hokkaido/guideline.html](https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/guideline.html)

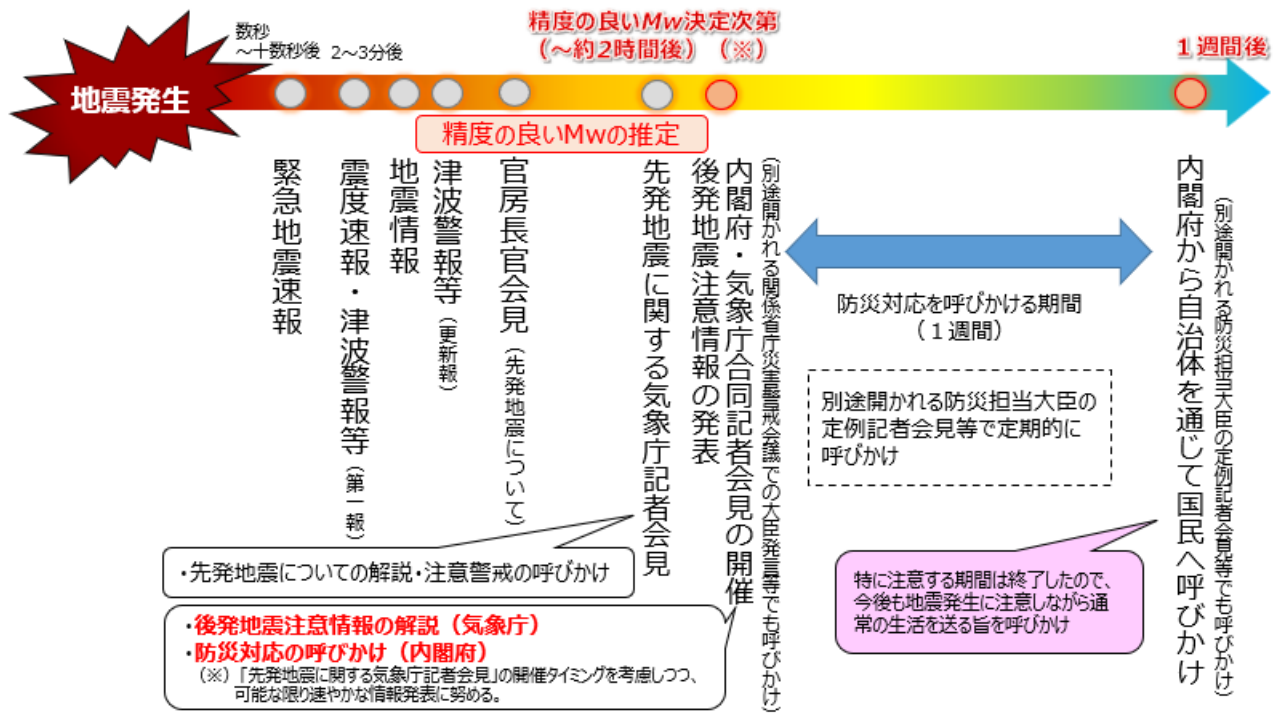


図4 情報発表の流れ (イメージ)

(内閣府「北海道・三陸沖後発地震注意情報防災対応ガイドライン」より)

※ここで説明した流れはあくまで典型的な事例であり、先発地震の規模や被害状況に応じて、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の発表やとるべき防災対応の呼びかけのタイミングが変わる見込みです。

資料についての問い合わせ先 : 宇都宮地方気象台 電話 028-635-7260